



経済産業省「平成 29 年度ビンテージ・ソサエティ・プラットフォーム形成事業」 フォーラム開催のご案内

経済産業省「ビンテージ・ソサエティ・ラボ」の到達点と未来 —高齢社会デザインの間としてのリビング・ラボ、開始 6 か月の軌跡—

背景とフォーラムの目的

「人生 100 年時代」が到来し、日本が超高齢化社会へと変化していく中、一人ひとりが価値観やライフステージに合わせて、一生、柔軟に働き・学び・遊び・活動し続けられるような社会システムデザイン、それを可能にするサービスイノベーションが求められています。

経済産業省では、昨年公表した産業構造審議会「2020 未来開拓部会」報告書に、「ビンテージ社会」というコンセプトを提示しました。日本の高齢化社会を、歳を重ねるたび人の「最盛期」が更新されていくような、「ビンテージ (Vintage)」な人生にあふれる社会にしていこうというコンセプトです。

このコンセプトを可能にするサービスイノベーションを生む場として、経済産業省では、昨年 9 月より、「都市」(介護施設・ニュータウン)・「地方」(温泉街)の生活現場を舞台にしたリビング・ラボ(川崎・鶴岡・所沢・狭山)を構築し、幅広く企業・大学・研究機関・地域社会を集めたオープン・イノベーションの運営をハンズ・オンで進めてきました。

4つのリビング・ラボ、具体的には「川崎ラボ」(介護×イノベーション)、「鶴岡ラボ」(温泉地×ヘルスケア)、「所沢ラボ」(ニュータウン×起業)、「狭山ラボ」(大学×起業)における、開始6か月の現時点までの議論の軌跡、運営の試行錯誤の過程を明らかにし、その内容をできる限り具体的に「手触り感」をもって紹介することを目的としています。

日 時

2018 年 2 月 16 日 (金) 13:30~16:30 (受付 13:00~)

※17:00 頃から別会場にてネットワーキングセッション (参加費無料) も予定いたします。

会 場

東京大学「伊藤謝恩ホール」 (東京都文京区本郷 7 丁目 3-1)

<アクセス> 地下鉄本郷三丁目駅から徒歩 6~8 分

<地図> <http://www.u-tokyo.ac.jp/ext01/iirc/access.html>

対 象

リビング・ラボの運営を通じたオープン・イノベーション創出や、高齢社会に対応した社会システムデザインやサービス創出に関心のある企業、自治体、大学・研究機関、NPO、メディア等の方々。

お申込み、お問い合わせ

<申込み先>

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeaGpiFob6cmktxmk1CvcjDSmCQgOvr-1yY02vvLCRNk78Ybg/viewform?c=0&w=1>

<申込期日> 2 月 12 日 (月)

<問合せ先> ビンテージ・ソサエティ・ラボ事務局 福崎 (E メール: m_fukuzaki@skfch.com)

※上記 Google フォームへアクセスできない場合は、直接事務局までお申し込みください。

主 催

経済産業省 商務・サービスグループ サービス政策課 教育サービス産業室

13:30 開会

13:35 主旨説明 ー経済産業省 商務・サービスグループ サービス政策課 教育サービス産業室

◆第1部：ビンテージ・ソサエティの構想◆

13:50 「ビンテージ人材モデルと一考察 ～いかに人生100年時代を豊かに生きるか～」（仮）

ー(株)ロフトワーク代表取締役 林 千晶 氏

14:10 各リビング・ラボ（ビンテージ・ソサエティ・ラボ）の活動経過

- (1) 川崎ラボ：「入ると自立度が上がる、世界一生産性の高い介護施設」をテーマとし、入居者の「残存能力」を引き出して自立・自由・出番を増やし、同時に高齢スタッフの活躍機会を増やし、結果として施設としてのサステナビリティ（介護の生産性）向上を追求。
- (2) 鶴岡ラボ：「Well-being プラットフォームとしての温泉旅館・温泉街」をテーマとし、地域における温泉旅館の多面的機能（高齢者の仕事の間、ヘルスケア・リカバリー拠点）を追求し、長期滞在型ツーリズムやバイオイノベーションの可能性を拓ける。
- (3) 所沢ラボ：「“やとい”の再生を通じた多世代交流型の学び・遊び・仕事づくり」をテーマとし、他世代交流・モビリティの拡大を意識したニュータウン地区のコミュニティ・インフラの再デザイン、不動産の新たな活用の在り方等を追求。
- (4) 狭山ラボ：「農福連携・リカレント教育・起業の場として大学」をテーマとし、高齢化社会のアクティブ・シニア層が「ただ学ぶ」だけではなく、埼玉西部地域の資源を活用して新たな「仕事」を生み出していきっかけを生むリカレント教育の場づくりを追求。

14:50 <休憩>

◆第2部：ビンテージ・ソサエティ・プラットフォームの形成に向けて◆

15:00 パネルディスカッション

「オープン・イノベーションを可能にするリビング・ラボ運営：6か月を経た現在地点」

ーパネリスト：川崎ラボ・鶴岡ラボ・所沢ラボ・狭山ラボのテーマオーナーと参加者

(株)ロフトワーク代表取締役 林 千晶 氏

ーモデレーター：経済産業省 教育サービス産業室長 浅野 大介

第1部の各リビング・ラボからのプレゼンテーションを元に、それぞれのラボにおけるテーマ設定の過程、議論の過程など、6か月の試行錯誤の姿を明らかにし、日本のオープン・イノベーションの現在地と課題について議論します

16:00 講評

ー（調整中）

16:20 総括

ー経済産業省 商務・サービスグループ サービス政策課 教育サービス産業室

16:30 閉会

ネットワークングセッション

17:00 開会（19:00 閉会予定）

ビンテージ・ソサエティにおける新たな事業機会の創造や社会課題の解決などにつながるネットワークングの機会となればと思います。

